

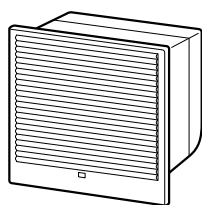
TOSHIBA

東芝空調換気扇 取付説明書

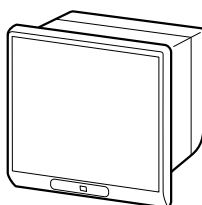
形名

VFE-100S, 100SC (格子タイプ)

VFE-100X, 100XC (パネルタイプ)



格子タイプ



パネルタイプ

販売店・工事店さま用

この空調換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。

(形名により図が一部異なります)

この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。

別売部品をご利用ください。



(詳しくはカタログをごらんください)

も く じ

安全上のご注意	2
取付上のご願い	3
各部のなまえ	4
結線図	5
取付方法	6



安全上のご注意

取付の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。









物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例






図記号	図記号の意味
 分解禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や、近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
 アースを接続する	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や、近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「アースを接続する」を示します。

取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は、取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

警告

 取付は依頼	取付・移設は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する 取付が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。
 電気工事が実施	電気工事は電気工事士（ ）が行う 電気工事士以外が行うと、火災・感電・けがの原因になります。 電気工事士への依頼は、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
 確実に取り付ける	取付は取付説明書に従って確実にを行う 取付が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。
 交流100V使用	電源は交流100Vを使う 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。
 改造禁止	改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。
 分解・修理禁止	修理技術者以外の人は分解・修理（ ）をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
 取付禁止	燃焼ガスや有毒ガスなどを吸い込むところには取り付けない また、積雪で吸排気口をふさぐところには取り付けない 新鮮な空気の換気ができず、ガス中毒や酸欠の原因になります。
 確実に取り付ける	強度のあるところに、確実に取り付ける 落下し、けがをする原因になります。

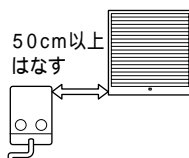
⚠ 注意

 取付禁止	天井面に取り付けない 落下し、けがをする原因になります。
 取付禁止	浴室など湿気の多いところには取り付けない 漏電し、火災・感電の原因になります。
 取付禁止	炎が接近したり、あたる恐れのある所には取り付けない 火災の原因になります。
 接触禁止	メタルラス張りなどの金属造営材と接触させない 漏電したとき、火災の原因になります。
 確実に取り付ける	本体カバー・熱交換器などの部品は確実に取り付ける 落下し、けがをする原因になります。

取付上のお願い

次のような場所には取り付けないでください。

1. 高温（40℃以上）になる場所
ガスレンジの真上
ガス湯沸器の真上
2. 浴室など湿気の多い場所
3. 台所など油煙の多い場所
4. 腐食性ガスの発生する場所
5. 暖房器・加湿器の近くや真上
6. 直射日光が当たる場所 (VFE-100X, 100XC)
7. 照明器具から2m以内の場所 (VFE-100X, 100XC)



製品は直接壁に取り付けますので、下記条件に合う場所を選んでください。

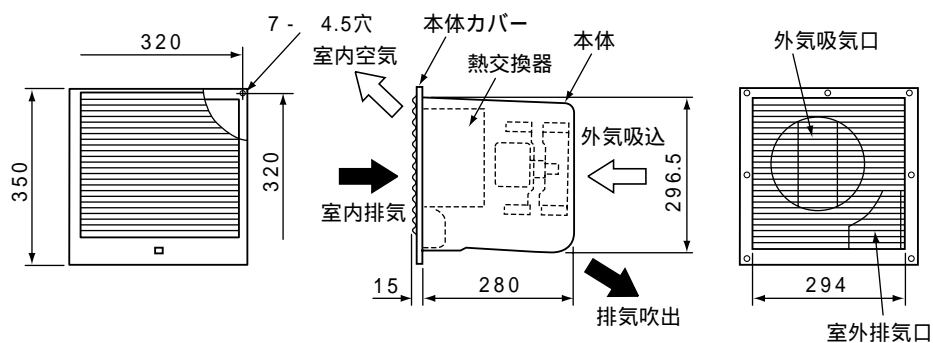
1. 風の吹出口、吸込口に障害物のないところ
2. 本体カバーがはずせて熱交換器を前に引き出せるところ
3. 屋外側で製品に雨水がかかる場合は、専用のシステム部材のウェザーカバーを取り付けてください。
4. 製品の前に障害物がなく、ワイヤレスリモコンが操作できる場所 (VFE-100X, 100XC)

各部のなまえ

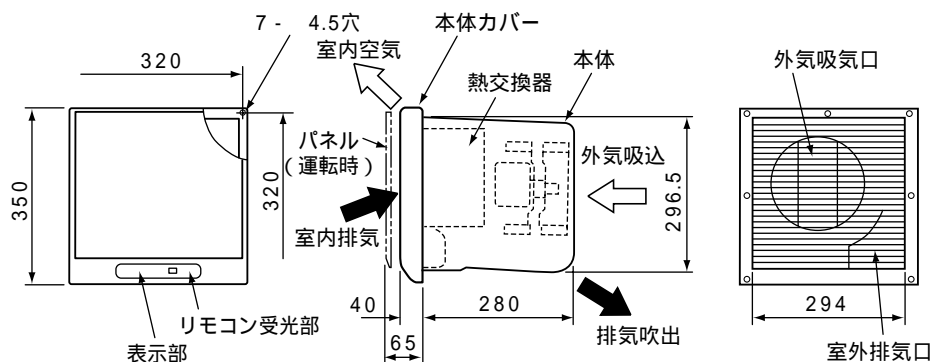
取付木枠寸法 300mm

適用壁厚 80～300mm



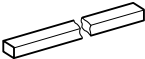
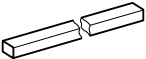




VFE-100S,100SC



VFE-100X,100XC

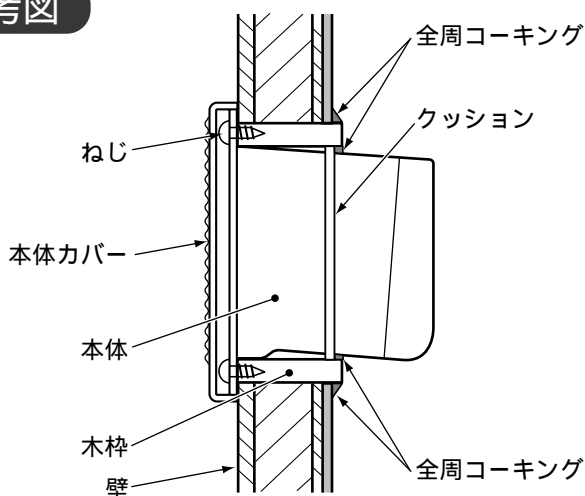


付属品

VFE-100S,100SC	VFE-100X,100XC
木ねじ.....4本 (取付板固定用)	木ねじ.....4本 (取付板固定用)
 4.1 × 25 l	 4.1 × 25 l
クッション.....1本 (本体取付用)	クッション.....1本 (本体取付用)
	
	リモコン.....1コ
	
	リモコンホルダー.....1コ
	
	電池.....2コ (単4：リモコン用)
	
	木ねじ.....1本 (リモコンホルダー固定用)
	 4.1 × 20 l

詳しくはカタログをごらんください。

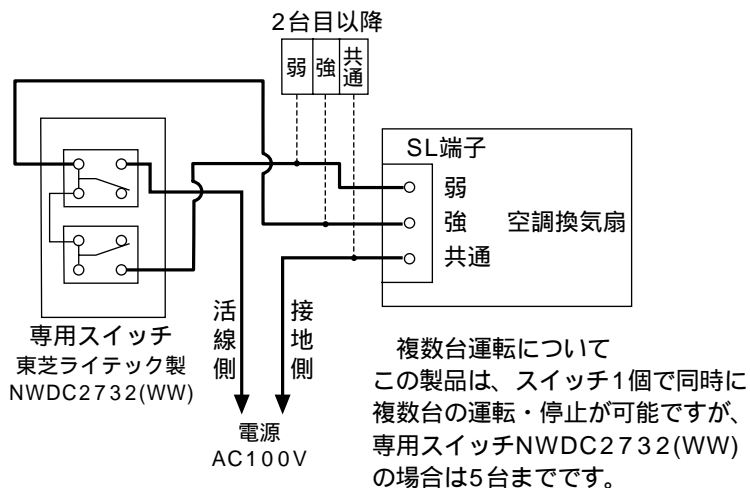
取付参考図



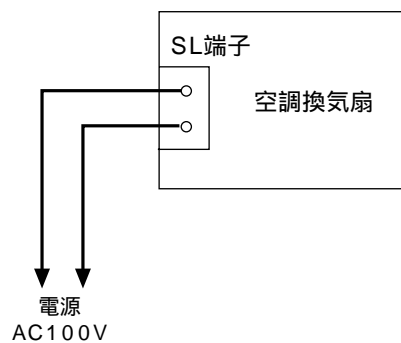
結線図

太線・破線部を結線してください。結線を間違えますと正しく動作しません。

VFE-100S, 100SC



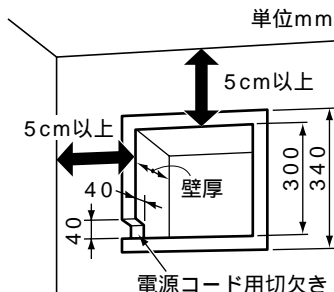
VFE-100X, 100XC



取付方法 (取付木枠内寸法 300mm, 適用壁厚80~300mm)

木枠の取り付けかた

- 1 取り付け位置を決め木枠を用意します。

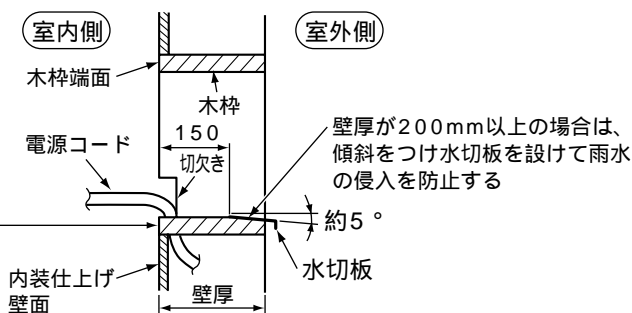


お願い

木枠の内側下部の合わせ部（両側）に市販のコーキング剤を塗ってください。
屋外側で製品に雨水がかかる場合は、専用のシステム部材のウェザーカバーを取り付けてください。

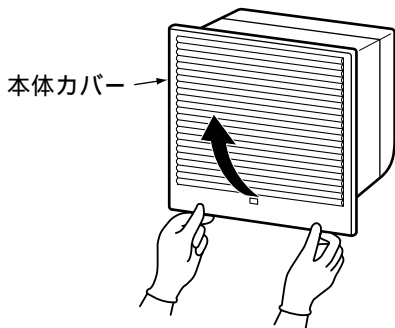
- 2 電源コードを木枠の切り欠きより室内側へ引き出し、木枠を固定します。

木枠端面は内装仕上げ壁面と同一面とし、壁の中へは入れないようにする。
木枠端面が沈んでいると本体カバーおよび本体が取り付けられません。



本体の取り付けかた (説明図はVFE-100Sタイプです)

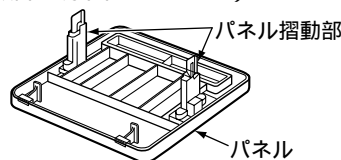
- 1 本体カバーをはずします。



お願い

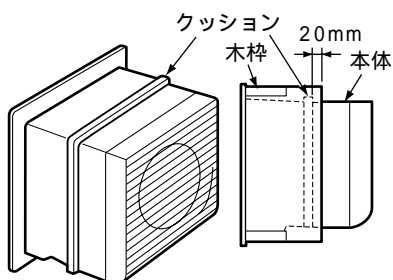
(VFE-100X, 100XC)

本体カバーのパネル摺動部には力を加えないでください。
(故障の原因になります)
本体カバーのパネルを引っ張らないでください。
(変形し、故障の原因になります)



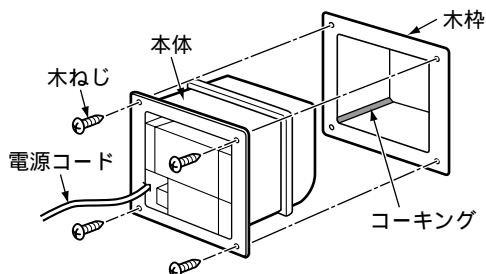
- 2 本体に付属のクッションを貼ります。

クッションは木枠から20mm程度入った位置に貼ってください。
本体下面には貼らないでください。



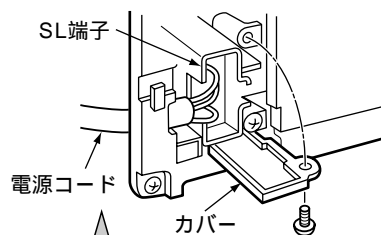
- 3 本体を取り付けます。

電源コードを本体に取り込み、本他を木枠に押し込み、付属の木ねじ4本で固定します。



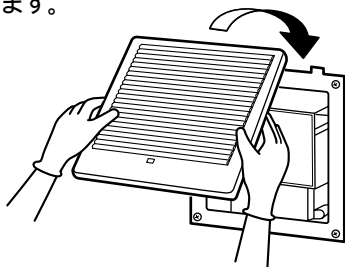
4 電源コードを接続します。

カバーのねじ（黒色）をはずし、カバーをあけます。
SL端子に電源コード（VVF 1.6, 2）の芯線を奥まで強く差し込みます。（電線被ふくは14mmむいてください）
カバーを閉じてねじを締め付けます。

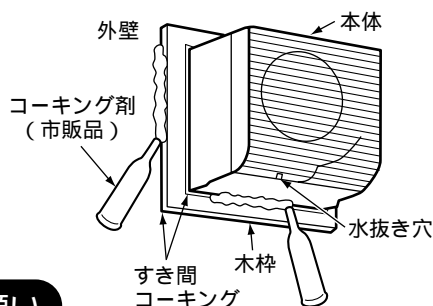


5 本体カバーを取り付けます。

本体上部の引掛部に本体カバーの穴を引っ掛けて、取り付けます。



6 本体と木枠のすき間（全周）、木枠と外壁のすき間（全周）をコーキングします。



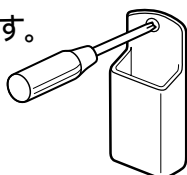
お願い

水抜き穴が壁の中に入る場合（壁厚が200mmをこえる場合）は、水抜き穴をふさがないようにコーキングしてください。

7 リモコンホルダーを固定します。

(VFE100X, 100XC)

付属の木ねじ（1本）を締め付けて固定します。



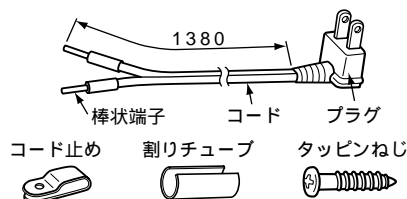
以上で取り付け完了です

次の点検を行い異常がないか確認してください。

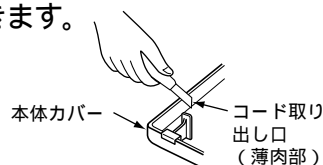
- 製品の取付強度が十分なこと
- 運転したとき異常音・振動がないこと
- 本体カバーが確実に取り付けられていること
- パネルがスムーズに開閉すること (VFE-100X, 100XC)
- コーキングの外観は良好なこと

プラグコードを使用する場合 (VFE-100X, 100XC)

1 システム部材のプラグコード (PC-8A)を用意します。



2 本体カバー側面のコード取り出し口を切り欠きます。



3 プラグコードを接続します。

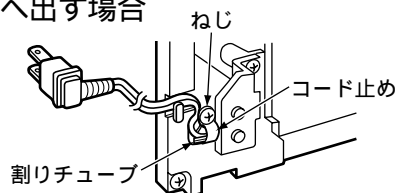
プラグコードの棒状端子をSL端子に接続します。（電源コードの接続参照）

4 コードを固定します。

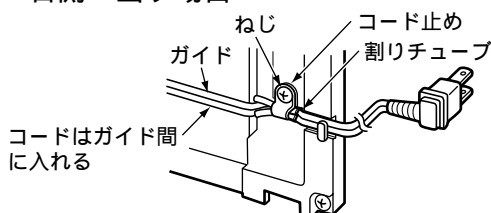
コード固定部に割りチューブ、コード止めを取り付けます。

コード止めにねじで本体に固定します。

左側へ出す場合



右側へ出す場合



東芝キャリア株式会社